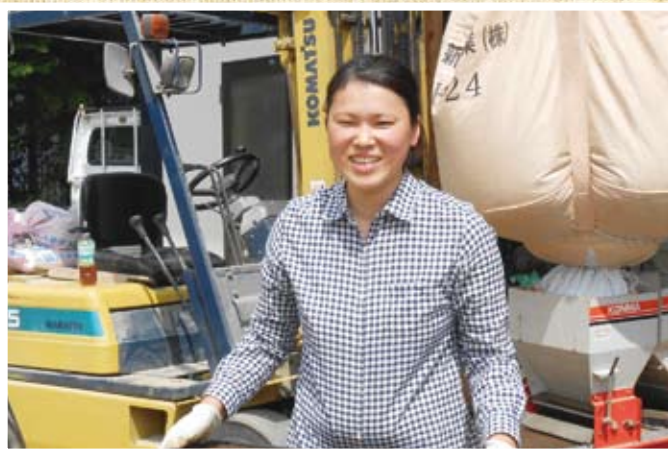


しろき ふみこ
白木 扶美子さん(37歳)
営農地:宗像市
主な農産物:水稻、麦、大豆



家族一緒に農業を続けたい

● 就農のきっかけ

父から就農をすすめられました

白木さんのご実家は農家で、白木さんたちが結婚して家を出た後、お父さんが一人で農業をしていました。

白木さんと夫の晋平さんは、ともに介護福祉士として働いていましたが、農繁期には、二人そろって白木さんの実家の農作業を手伝いに行っていました。

そんな二人を頼もしく思ったのでしょうか、あるときお父さんから、「介護の仕事よりも、農業の方がいいぞ。二人で農業をしないか。」と就農を勧められました。そのときは、白木さんが妊娠して仕事をやめていた時期でもあり、「農業だったら、子どもができて続けられる。」「夫と二人で農業をしたい。」と思い、夫婦で話し合っ、就農する決意をしたそうです。

● 私の今～就農後の道のり～

今は、子育てをがんばっています

就農して2年目に、夫はお父さんから経営移譲されました。就農後しばらくは夫婦そろって農業を頑張っていました。二人目の子宝に恵まれたため、現在、白木さんは子育て中心の生活を送っています。そのため、農業は夫とお父さんの二人が中心です。「夫は、義理の父と一緒に毎日仕事をす訳ですから、気苦労もあると思います。サラリーマンと違って決まった休みが取れないし、今は私があまり農業を手伝えないので大変だと思います。」と、白木さんは夫を気遣っています。

白木さんは、「しばらくは子育て中心ですが、子供に手がからなくなったら、また本格的に農業を始めたいです。今、我が家は米・麦・大豆が中心ですが、安全・安心な野菜をいろいろ栽培したいです。」と話してくれました。

● これからの夢、目標

夫といっしょに楽しく農業を続けていきたい

白木さんは、将来について、「一番の目標は、夫と一緒に健康で楽しく農業を続けていくことです。そして、将来、子供たちも農業に興味を持ち、一緒に楽しく、手伝いながら成長してくれたらいいなとも思います。」と話してくれました。

また、子育てを通して「子供たちに安全・安心な食物を届けたい。」「食事の大切さを知りたい。」という思いが強くなった白木さんは、これからさらに勉強して、食べ物を通して、子供たちに食の大切さを伝えていきたいと考えています。



プロフィール

- 家族構成 / 本人、父、夫、子2人
- 営農年数 / 約4年
- 耕作(経営)面積 / 8ha
- 販路 / JA共販、直売(水稻のみ)

就農を考えている女性へ ♡

農業は、家族一緒に仕事ができるし、自分で作った食物を、子供に食べさせてあげられるところがいいなと思います。